

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
13	向 江 か ほ り	社 民 立 憲	関 係 局 長	農 業 委 員 会 事 務 局 長

発言の要旨

<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) ベビーファースト運動活動宣言を行った理由とその効果</p> <p>2 保育所等のおむつ事業について</p> <p>(1) おむつ利用の準備から処分までの本市の現状</p> <p>(2) 枕崎市の手ぶら登園の概要と行政の関わり</p> <p>(3) 枕崎市の取組と利用者の声に対する本市の評価</p> <p>(4) 他都市や本市で手ぶら登園をしている保育所等はあるか</p> <p>(5) 手ぶら登園導入の理由</p> <p>(6) 本市でも手ぶら登園の補助制度を検討すべき</p> <p>3 保育士・保育所支援センター運営事業について</p> <p>(1) 現在の事業概要と拡充する機能</p> <p>(2) 保育士の労働環境等の専門的な相談機能の現状</p> <p>(3) 拡充の背景と目的</p> <p>(4) 拡充することにより期待される効果</p> <p>(5) 利用者の見込数の根拠</p> <p>(6) 他都市の調査状況</p> <p>(7) 周知方法とその対象者</p> <p>(8) 周知方法にLINEを選んだ理由</p> <p>(9) 周知広報は明確なターゲットを想定して効果的な手法を取り入れるべき</p> <p>4 キンダーカウンセラー事業について</p> <p>(1) キンダーカウンセラーとは</p> <p>(2) 大阪府と岐阜市の取組について</p> <p>① 目的・背景</p> <p>② 期待される効果</p> <p>(3) 本市でもキンダーカウンセラーの仕組みを導入してはどうか</p> <p>5 働く世代の健康づくり事業について</p> <p>(1) 本市において働く世代の現状と認識及びその根拠</p> <p>(2) 本市のメタボリックシンドローム該当者数・予備軍の割合と特定保健指導実施率並びにがん検診受診の状況</p> <p>(3) 健康診断やストレスチェック後の事業所等の取組と課題</p>
---

- (4) 事業主の意識改革の現状と課題
- (5) 中小規模事業者の声を踏まえた当局の今後の考え方
- (6) 「鹿児島市健康づくりパートナー」の登録数の推移と当局の取組及び評価並びに先進事例
- (7) 周知広報の評価と課題及び今後の考え方

## 6 はたちの集いについて

- (1) 令和3年度の新成人のつどいから得られた教訓と今後の課題
- (2) 3年度と4年度の式典について
  - ①名称・対象年齢・会場・収容人数の相違点
  - ②20歳の方のみを対象とした理由と評価
- (3) 式典の会場はいつ、どこで、誰が、どのように決めるのか
- (4) 入りたくても入れない人がいるか
- (5) 特典招待パスポートの研究状況
- (6) 宮崎市の取組について
  - ①対象者への専用告知方法
  - ②「まち・ひと・しごと」に関する20d oアプリの取組とそのメリット
  - ③本市でも導入すべき

## 7 国際交流事業について

- (1) 青少年国際交流オンライン体験事業について
  - ①事業概要・目的
  - ②交流都市・参加人数・参加者の声
  - ③開催に当たって工夫した点とその評価
- (2) 青少年の翼事業は次年度再開するか
- (3) 青少年国際交流オンライン体験事業も継続すべき

## 8 農業委員会について

- (1) 農業委員の法改正がなされた趣旨と目的
- (2) 農地等の利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進等の現状と評価
- (3) 農地利用最適化推進委員を新設した効果
- (4) 農業委員の中に認定農業者を過半数にした効果
- (5) 法改正後からの農業委員について（平成28年、31年、令和4年）
  - ①定数・平均年齢・男女比
  - ②女性の委員候補者の数、任命された数
- (6) 任命制の現状の認識と課題
- (7) 今後の農業委員会の在り方

## 9 県道鹿児島蒲生線について

- (1) 現在の進捗状況
- (2) 今後のスケジュール
- (3) 県に早期着工の要請をすべき